

吹田市商工業振興対策協議会 議事録

【オンライン開催】

- 1 開催日 令和3年4月26日(月)
- 2 開催時間 午後1時30分から3時40分まで
- 3 出席委員 太田会長、刃物副会長、石川委員、岸原委員、紙谷委員、山口委員、浦部委員、村口委員、福家委員、奥田委員、松尾委員
- 4 意見書提出委員 平岡委員、西田委員
- 5 出席職員 井田部長、梅森次長、淵上参事、樋口主幹、萩原主幹、山中主任、奥山係員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 配付資料(事前送付)
 - (1) 次第
 - (2) 資料集
 - 資料番号1 令和3年度(2021年度)都市魅力部地域経済振興室の組織体制
 - 資料番号2 平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度)吹田市商工関係事業別予算・決算の対比
 - 資料番号3 令和3年度(2021年度)吹田市商工関係事業別予算
 - 資料番号4 令和2年度(2020年度)新型コロナウイルス感染症緊急対策事業者支援実施状況(令和3年3月31日時点)
 - 資料番号5 令和3年度(2021年度)吹田市新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン(地域経済振興室所管分)
 - 資料番号6 吹田市商工振興ビジョン2025【施策別成果指標、主要5項目現状値及び目標値】【平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度)】の達成状況について
 - 資料番号7 吹田市商工振興ビジョン2025検証シート
 - 参考資料 令和元年度(2019年度)吹田市商工業実態調査結果報告書
- 9 会議内容(発言要旨)

<案件(1)平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度)吹田市商工関係事業別予算・決算額の対比及び令和3年度(2021年度)吹田市商工関係事業別予算について>
事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(会長) 書面での意見はありますか。

(事務局) 予算、決算額に注目した意見がありました。

(委員) コロナの影響で令和2年度が事業縮小したことは理解できます。ふるさと納税に注目が集まったのですね。

(会長) 予想以上の反響があったということですか。

(事務局) 一昨年にふるさと納税の地場産品基準に関する国のルールが定まり、全国的に利用増の傾向がありました。本市は8月から返礼品の提供を開始しています。当初見込んでいたより反響がありました。またコロナの影響も一部あったと理解しています。

(委員) 決算・予算について質問します。まず、融資関係の予算額が減少している理由を、令和3年度の国の施策も含めて教えてほしいです。次に、企業定着型環境配慮事業補助金の執行が昨年度は0円ですが、なぜ利用されないのか教えてほしいです。次に、ふるさと納税の件数と納税額は総額でいくらですか。

(事務局) 融資関係は、ゼロゼロ融資と言われる国の手厚い融資制度は、3月末で終了しました。現在もコロナ対策の融資は行われています。また、令和3年度の予算は前年度と比べて下がっていますが、最近の決算額をもとに、必要と思われる額は確保しています。

次に、企業定着型環境配慮事業補助金は、市内で製造業を営む事業者向けの補助金で、騒音や悪臭、振動などの対策費用となっています。環境部に確認したところ、苦情等になる前に営業時間の見直しや、騒音設備の配置場所変更などの対応で解決できているため、補助金の執行には至っていないとのことでありました。

また、ふるさと寄附金の実績は1億8000万円を見込んでいたところ、3月末で約4億8000万円の寄附申込みがありました。支出内訳は、返礼品代金や事務手数料などです。

<案件(2) 令和2年度吹田市新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン(地域経済振興室所管分)の報告について>

事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(会長) 書面での意見はありますか。

(事務局) 中小企業等応援金について、支給額や支給要件についての意見がありました。

(委員) 休業要請支援金は、対象期間が短かったという苦情がありました。令和3年度の応援金は対象期間や範囲が広いのでありがたいです。

また、すいたエール商品券取扱協力店応援金は、昨年度の協議会では議論されていなかったように思いますが、どのような経過で実施が決まったのですか。

(事務局) 商品券の取扱協力店応援金は、商品券事業を実施していく中で、限られた制度設計の時間ではありましたが、追加の事業者支援策として実施しました。

(委員) 各種商業施策について、商店街としてはありがたいと感じています。

<案件 (3) 令和3年度吹田市新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン(地域経済振興室所管分)>

事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(会長) 事業展開支援の取組については面白いです。動画の活用は世界に発信できる道具として、注目を浴びている分野でもあります。うまく活用してほしいです。

(委員) 中小企業ホームページ等作成事業補助金に関心があります。私も最近、ホームページを改修しました。増額した補助金額でも、対象経費の半額も賄うことはできませんが、それでも事業者の力にはなります。

(委員) 中小企業等応援金は、幅広い補助対象になっています。ホームページの補助金は、金額が増額され新規作成だけでなく、更新などにも使えるようになり使い勝手が良くなった点が評価できます。

(委員) プレミアム付商品券は、令和元年度は9億円で令和2年度は11億円の決算となっています。この事業の効果を教えてください。また、今後の商品券事業の実施予定はあるのですか。

(事務局) 2年続けてプレミアム付商品券事業を実施しました。この間、販売箇所を4か所から50数か所に増やしました。また、販売実績も増えており、消費喚起の一助になったものと理解しています。現在、利用者にアンケートを実施しており検証を進めていきます。今後の商品券事業の実施予定は未定です。

(委員) 認知度は不十分であったと思いますが、事業自体は即効性があって良かったです。

(委員) 支援金の執行状況について教えてください。

(事務局) 令和2年度の休業要請支援金は府と共同で実施しました。府が制度設計して、執行率は6割程度であり、同業務は既に完了しています。また、令和3年度の中小企業等応援金については、受付が令和3年5月10日から開始します。各委員にも事業の周知をお願いします。

<案件 (4) 吹田市商工振興ビジョン2025の施策別成果指標、現状値及び目標値の達成状況及び検証結果の報告について>

事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(会長) 書面での意見はありますか。

(事務局) 空き店舗の対策に関して、気軽に相談できる窓口が必要との意見がありました。

(委員) 開業率と廃業率は、市独自に算定できないのですか。また、中小企業セミナーのオ

ンライン開催はできないのですか。空き店舗対策で新たな支援はどのように考えていますか。企業訪問を 1000 件近く訪問されているが、零細、建設業の割合が少ないのではないですか。

(事務局) 空き店舗対策は市の課題であり、何らかの支援が必要だと認識しています。

(事務局) 開業率については、国の経済センサスの数値です。令和元年の調査から法人番号を活用した調査を実施したため、前回調査と比較できない状態にあります。また、企業訪問については、事業規模や業種を問わず実施してきたが、今年度実態調査も予定していることから、充実に努めます。中小企業セミナーのオンライン開催は、今後の検討材料としていきます。

<案件 (5) 吹田市商工振興ビジョン 2025 検証シートの期末報告について>
事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(会長) 書面での意見はありましたか。

(事務局) コロナ禍において、中小企業は生き残りをかけた状態となるのではないかとの意見がありました。

(委員) 企業定着型環境配慮事業補助金について詳しく聞きたいです。

(事務局) 住工混在地での操業継続を図る補助金であり、大阪府や吹田市の基準を上回る臭気、騒音、振動に対する是正が対象となります。また、工場の方で自主的に対策を講じ、状況が改善されている例があると聞いています。

(委員) 企業訪問等をオンラインで実施できないのですか。

(事務局) コロナ禍で訪問が難しくなり、電話等での方法を試してみました。ズームによる企業訪問は相手側のこともあるので、できるところから進めていきたいです。本日の会議でオンライン会議の利用が進んでいることが分かりました。

(委員) コロナ禍の影響で廃業がじわじわと広まってきています。事業承継なども含めて対応を考えていかなければならないです。

(委員) 今年度は、産業フェアを実施するのですか。

(委員) 産業フェアをリアルで開催するのは困難です。現在、オンラインでの開催を検討していますがまだ決まっていません。

(委員) 例えば、医師が開業を行うために物件を探す際に、廃業状況を不動産屋から聞くのではなく、創業相談などの際に情報提供できるような仕組みはできないのですか。

(事務局) 創業支援、事業承継については国も検討しています。今後の議論の参考にさせていただきます。

(委員) 創業について、コロナ禍で様々な支援策がでていますが、創業期の支援が漏れがちです。創業期の支援策があると良いです。
また、商品券は現金化するまでに時間がかかり、資金繰り上厳しい側面もあります。改善できる点があればお願いします。
コロナ禍で先行きが見えません。昨年度ビジョンの中間見直しを見送りましたが、今後の計画をどのように考えているのか教えてほしいです。

(事務局) まず商品券の換金について平成 31 年度は、2 週間かかっていましたが、令和 2 年度はおおむね 1 週間で換金できるようにしました。また、キャッシュレス決済についても、現在、利用者に商品券に関するアンケートを実施しており、一定のニーズがあることも把握しています。今後の在り方については検討を重ねます。

(事務局) 中間見直しを見送った後の現時点では、新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランとして今必要な支援策を実施しています。
今年度行う事業所実態調査等を通してコロナの影響や今後の事業活動の在り方について分析、議論を深めて、その上で令和 7 年度の次期ビジョンの策定に反映させていきたいと考えています。

(委員) 商店街等魅力向上促進事業補助金について現状を教えてください。

(事務局) 商店街等魅力向上促進事業補助金については、イベント事業の補助金として増額したものです。補助金については、一定枠を確保していますが、現状、すべての事業に補助することは難しいと考えています。

(委員) 検証シート 7 番 令和 2 年度の予算・決算見込みについてですが、2 ページ商店街等魅力向上促進事業補助金の予算額、6 ページ駅周辺活性化事業の予算額及び決算額、7 ページ情報発信事業の予算額及び決算額の記載が間違っています。

(事務局) 確認して、あらためて御連絡させていただきます。

<その他 (1) 令和 3 年度 (2021 年度) 吹田市商工業実態調査について>

事務局から内容説明の後、次の意見、質疑がありました。

(委員) ビジョン検証シートの健都イノベーションパークの事業については、コロナ禍を逆手にとってできることがあるのではないですか。ホームページを拝見すると、5 月 25 日に健都のプラットフォームの説明会やセミナーが催されます。市として積極的に推進してほしいです。また、ふるさと納税で増収が見込めるのであれば、原資として活用が見込めるのではないですか。

(会長) ふるさと納税の活用は 1 つの案ですね。やり方はいろいろあるので事務局で考えてほしいです。

(事務局) 健都での取組に期待を寄せていただけて嬉しく思います。このことを関係部局と共有して進めていきたいと思ひます。

(委員) 7月20日は中小企業の日です。7月17日には産創館で中小企業展を実施するので、中小企業が日本をけん引していることを、各自しっかりとPRしてほしいです。

次回開催日程が 8月23日(月)に決定しました。